

エンジョイ本宮高倉山シリーズ⑩

植田 章夫 (旭)

前は牟佐山ルートをご紹介しましたが、今回は北側(河瀬地区)からのルートをご案内します。

写真①は大久保から北に2kmの地点にある河瀬地区の登り口の目印です。旭川をまたいで御津方面と本宮高倉山北稜を東西に結び、中電の送電線に沿って急斜面をまっすぐ登ります。



①ココを右に

この道は鉄塔の巡視路となっており、管理者が笹を刈る秋から春先までの半年間は歩くことができます。しかし、夏場は背丈を超えるほど笹が茂り、道が閉ざされてしまいます。

写真②は、途中の鉄塔下から金山・御津方面を振り返った眺望です。北の稜線に出て南へ進めば、まもなく頂上に到着します。



②中腹の鉄塔から西を振り返る

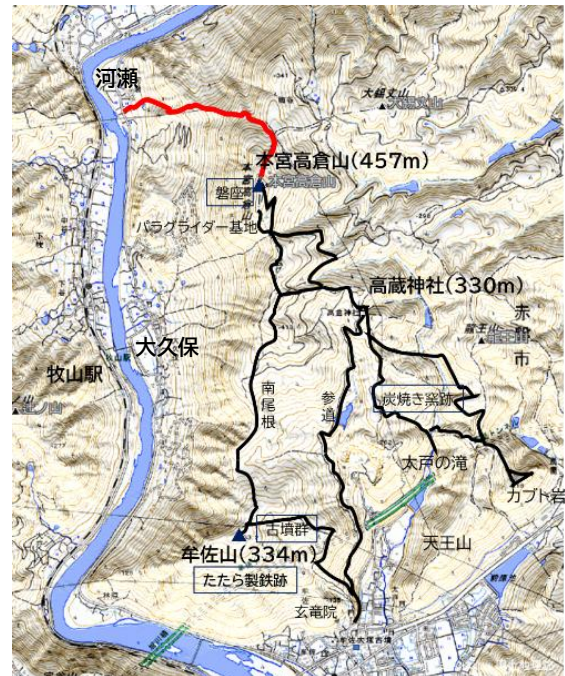
写真③は4月5日の撮影です。頂上のソメイヨシノがちょうど満開を迎えていました。



③頂上の磐座から南方向を望む

この新聞が発行される6月には、残念ながらルートは笹で閉ざされつつあります。無理な登山は控え、また道が開ける時期を楽しみにお待ちください。

次回は、古くからの「高蔵神社参道」をご紹介します。



今回のルートは赤、既に紹介したルートは黒の線で示します

スズメバチの巣を見つけたら

近年、気候変動の影響かスズメバチの異常発生が続いています。活動時期は4月から11月と長く、特に7月から10月は攻撃性が増し非常に危険です。身近な「キロスズメバチ」は軒下、木の枝などに巣を作りますが凶暴な「オオスズメバチ」は土中や樹洞に巣を作るため発見が遅れがちです。どちらも発見時は決して近寄らず、静かに、ゆっくりとその場を離れ遠くからスマホ等で写真を撮影し地区会長、町内会四役に連絡してください。民地内のスズメバチならば町内会が駆除費用の半額を補助しています。

町内会でおすすめの専門業者として薬剤不使用で戻りバチの処理まで丁寧に処理してくれる【あつたや(熱田安武) 電話:090-3377-8940】を紹介しています。他社より安価で申請用の写真も提供してくれます。**手続き手順**①地区会長等とスズメバチの確認、写真を遠くからとる。②LINE等で町内会四役に連絡。③本人が業者に連絡駆除してもらい代金を支払う。④領収書(コピー)と駆除前後の写真を町内会会計に提出。⑤半額補助金を受け取る。



平井 守 (桜南)

編集後記

初夏の風が心地よく、草木の緑が深まる季節となりました。まもなく梅雨入りを迎え、急な豪雨や増水、土砂災害の危険が高まります。排水溝の点検や避難経路の確認など、備えを改めて見直していただければ幸いです。地域の安全のため、ご協力をお願い申し上げます。(電子町内会運営委員)